

ホテイウオ

ほっかいどう よ
北海道では「ごっこ」と呼ばれています

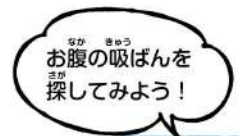


🎌 かんさつポイント

- **丸くて大きな顔**
七福神の布袋さまにそっくりで、まん丸な顔と体が特ちょう。体にはうろこがなく、ぶよぶよしています。



- **お腹の吸ばん**
海底の岩にくっつくために、吸ばんのように変化した腹びれがついています。



どんな魚?

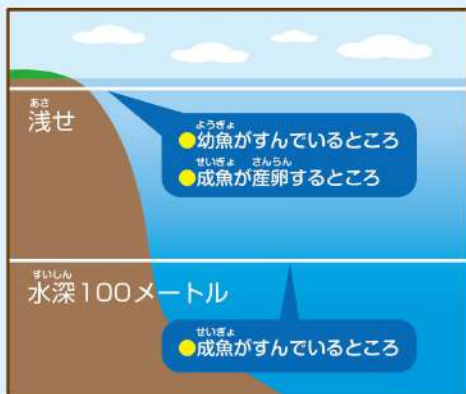
幼魚 浅せで生まれたホテイウオのあかちゃんは、お腹の吸ばんで海そうや岩にくっついて生活します。体長10cm以上になると沖合へ移動し、クラゲや小さなエビなどを食べて暮らします。

成魚 水深100メートルほどの冷たい海で暮らしています。3年で体長20~25cmほどになります。冬になると産卵のために浅せにもどってきて、メスは産卵後に、またオスは卵からあかちゃんがかえった後に、そこで一生を終えます。

卵を守る!

イクメンお父さん

ホテイウオのオスはあかちゃんが生まれるまで、ヒトデやタコなどの敵から卵を守ります。その間、吸ばんで岩にくっついてじっと動かず、食事もしません。



冬の風物詩「ごっこ汁」

函館の近海では、ホテイウオが産卵のために浅せにあがってくる冬に、さかに漁がおこなわれます。産卵のためにたくわえた栄養たっぷりの身とお腹の卵が入った「ごっこ汁」は、函館の冬の定番料理です。

